

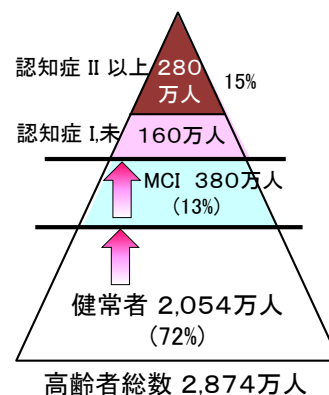
日本認知症予防学会 専門医制度ワーキンググループ委員会よりの公告

2016年3月8日

目的:「認知症予防学会専門医委員会」は、今後急増すると思われる社会的ニーズを踏まえて、本学会として「認知症予防専門医」を育成することを目的とする。

設立趣旨:2013年の厚生労働省発表データによれば、65歳以上の高齢者認知症の有病率は高齢者中の15%(440万人)を占め、MCIは13%(380万人)となっている(下図)。これを受けて同省としては今後の施策として、健常者からMCIへの移行ならびにMCIから本格的認知症への移行の両方を予防することの重要性を指摘しています。この方向性は取りも直さず認知症の1次予防ならびに2次予防そのものであり、本学会の目指すところと完全に一致しています。一方、総理府国家戦略会議・厚労省は上記施策の実現に向けて、2015年1月に国家戦略として2018年(平成30年)度までに認知症初期集中支援チームを全市町村に整備することを国家目標にして取り組み始めています。このようなoutreach型の認知症予防対策においては、認知症サポーター医の役割が重要ですが、一般地域住民のライフスタイルや生活習慣病の管理、初期症状の早期発見等の日常的かつ総合的対応が求められるものであり、いわゆる「認知症になってしまった患者を診る待ち姿勢の専門医」では十分に対応できないのが実情です。そこで本学会としてこの社会的ニーズに正面から対応するために、このたび「(仮称)認知症予防専門医」を育成することになりました。本専門医の性格上ならびに対象住民の膨大さから判断して、従来型の待ち姿勢の大型認知症疾患センターよりは、内科系を中心とした一般開業医が主としてこの任務を担うべき主体と考えられます。そこで本委員会としては、認知症予防について幅広い見識とご経験のあるご開業の先生方を中心とした構成として初期的な議論を開始しつつ、次第に構成を広げて行き、本学会としての専門医育成に資することを目標にする。

<認知症予防学会専門医制度ワーキンググループ委員会>



	候補委員名	所属・専門分野
1	阿部康二	岡山大学・神経内科
2	浦上克哉	鳥取大学・保健学科
3	川瀬康裕	内科開業医(三条市)・神経内科
4	神谷達司	内科開業医(草加市)・神経内科
5	辻 正純	内科開業医(都内)・循環器内科
6	藤井武親	内科開業医(倉吉市)・一般内科
7	安部明夫	内科開業医(別府市)・神経内科
8	西野憲史	病院理事長(北九州市)・循環器内科
9	鈴木正彦	慈恵医大葛飾医療センター准教授・神経内科
10	岩田 淳	東京大学准教授・神経内科
11	江澤和彦	病院理事長(倉敷市)内科総合医
12	松村美由起	東女医大神経内科講師
13	滝澤俊也	東海大学教授・神経内科

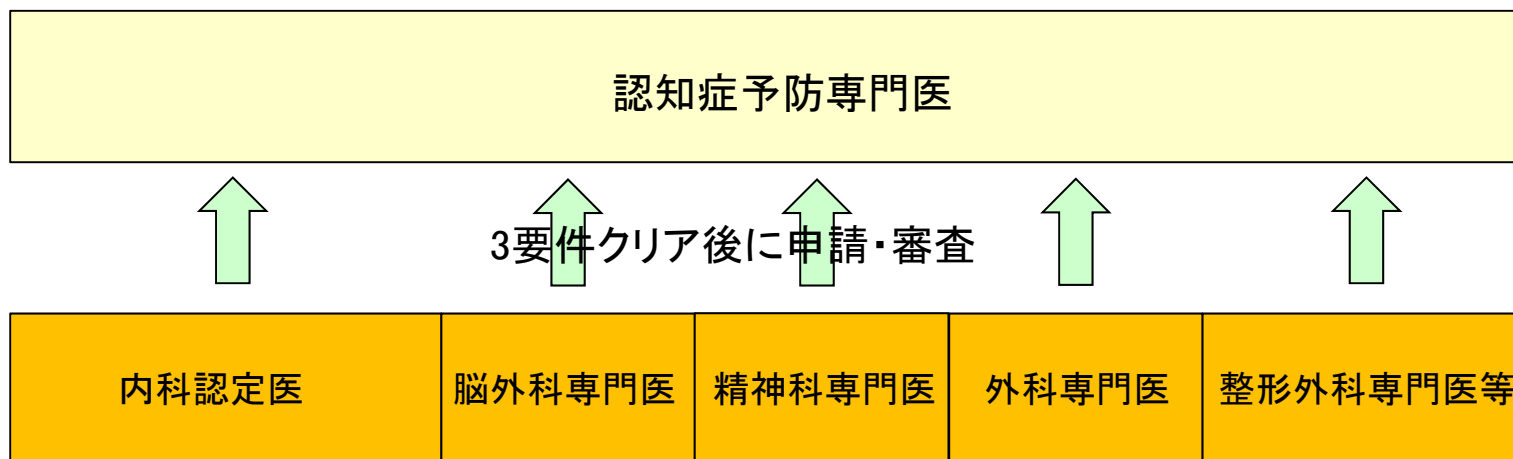
認知症予防学会 専門医資格 取得3要件

- (1) 会員歴2年以上(4月→3月の年度計算)
- (2) 認知症に関する実診療歴3年以上(勤務先上司の証明必要)
- (3) 学会認定30単位以上(以下は単位例)

教育セミナー受講+小テスト合格=学会総会時(10単位)、定期セミナー時(5単位)

基本領域認定医資格保持者(10単位)=内科認定医、脳外科専門医、外科系専門医、整形外科専門医等
 地域医療貢献実績保持者(5単位) 認知症サポート医、初期集中支援チーム医、かかりつけ医、産業医等

認知症予防専門医取得概念図



<認知症予防学会 専門医資格 認定スケジュール>

- 2016年3月 学会ホームページで公告
- 2016年9月 仙台総会で教育セミナー開講、小テスト実施
- 2017年9月 岡山総会で教育セミナー開講、小テスト実施
- 2018年4月 申請受け付け開始
- 同年6月 申請締め切り
- 同年9月 東京総会で第1回認定

2016年9月24日(土)
 仙台国際センター-pm5:00-7:00
 予定